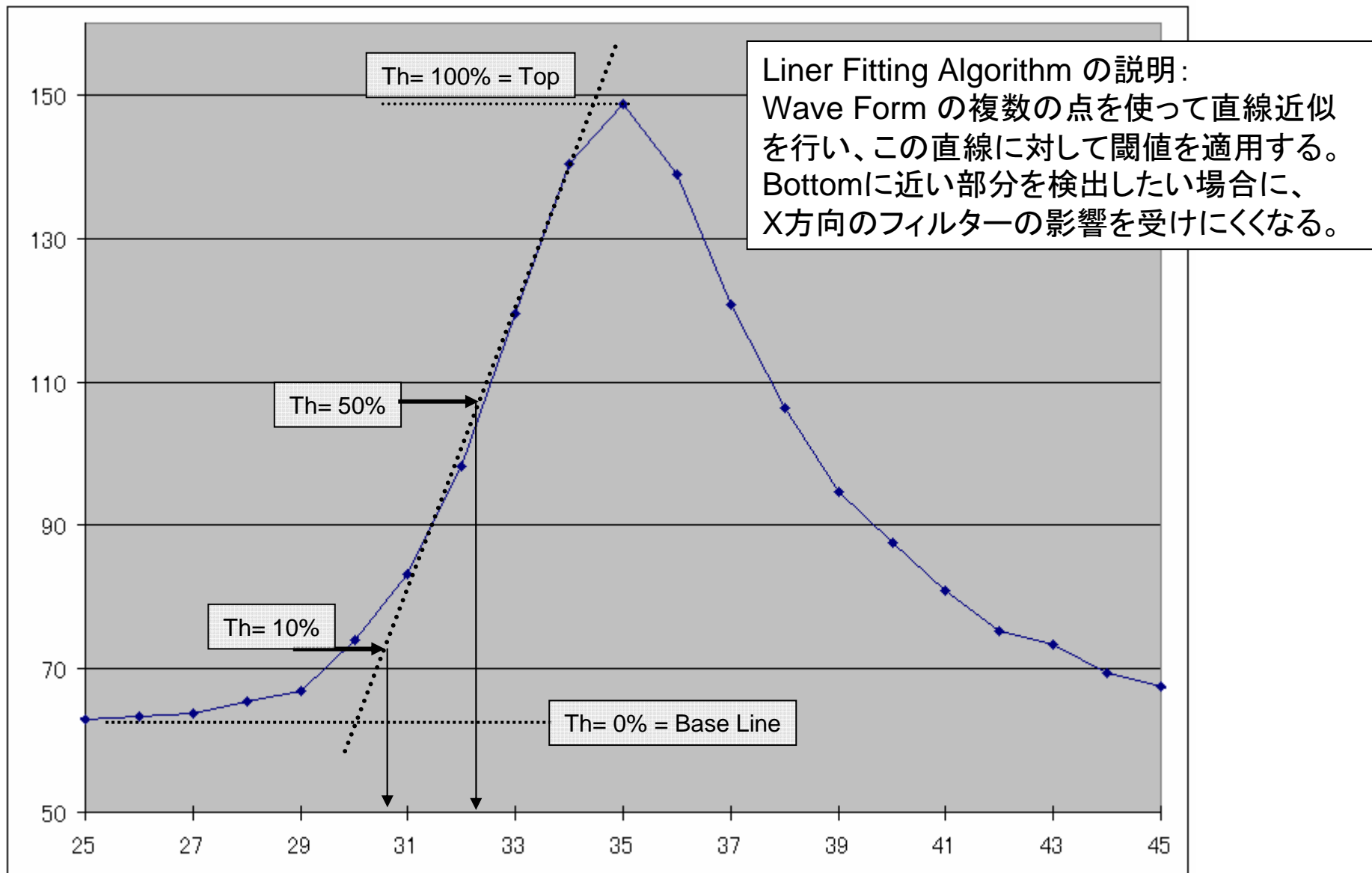


th1X, th2X は、Wave Form でのSpace/Line 側の閾値:0.1 ~ 0.9  
dfTh1, dfTh2 は、微分波形での Space/Line 側の閾値:0.1 ~ 0.9  
topX, dfMaxX,は、WaveForm/微分波形が最大になる場所  
dfTh0TopX は、微分波形が0になる場所



dfLMThX, dfLMC5ThX, dfLMMSThX は、WFに Fitting Line を引き、WF の BaseLine と Top の間を 0%、と 100%とする時、閾値と、Fitting Line の交わる座標を返す。Fitting Line の引き方が3通り。  
経験的に、dfLMC5ThX が、最も安定している。計算に使用する閾値は、0.1 から 0.9。

# Liner Fitting のアルゴリズム

- dfLMThX:  
偏差のSDが最小になる場合を採用(  $n = 3$  to  $15$  )  
 $n$ の値は、動的に決められる。
- dfLMC5ThX:  
パラメータ iLMcnt で指定した点数を使用( default= 4 )  
テストした範囲では、最も安定しているように思う。
- dfLMMSThX:  
勾配が最大になる場合を採用(  $n = 3$  to  $15$  )  
 $n$ の値は、動的に決められる。